

こども

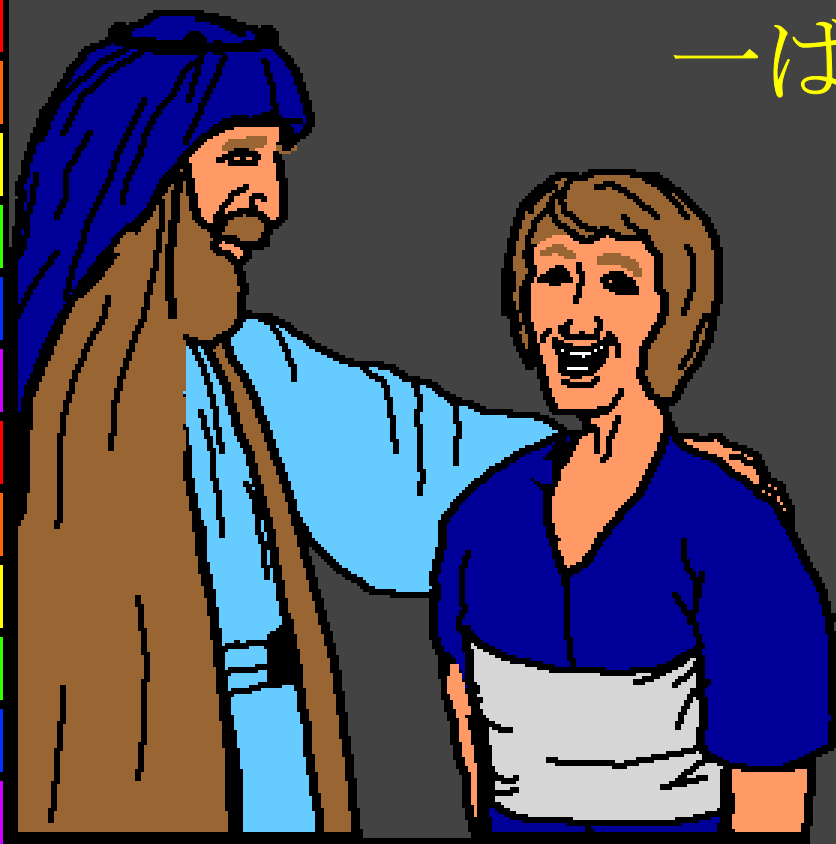
# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

むすこ

一ばんかわいい息子が、  
どれいに



<sup>ぶん</sup>  
文: E. Duncan Hughes

<sup>え</sup>  
絵: Byron Unger; Lazarus

<sup>かいさくしゃ</sup>  
改作者: M. Kerr; Sarah S.

<sup>ほんやくしゃ</sup>  
翻訳者: Yuko Kajiki  
監修者: Dan Ellrick

<sup>しゅつぱんしゃ</sup>  
出版社: Bible for Children  
[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

<sup>きよか</sup> <sup>たにん</sup> <sup>う</sup> <sup>かぎ</sup> <sup>はなし</sup> <sup>また</sup>  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
<sup>きよか</sup>  
許可されています。



イサクは、ほんとうにしあわせでした。なぜって、息子ヤコブが家にいるのです  
から。それに、いちどは、弟 ヤコブを殺そうとしたエサウでさえも、大よろこ  
びでヤコブを迎えてくれたんですからね。けれども、ヤコブの息子たちは、しあ  
わせじゃなかったのです。それは、かれらの弟 ヨセフが、  
お父さんのいちばんかわいい子だったからです。



とき

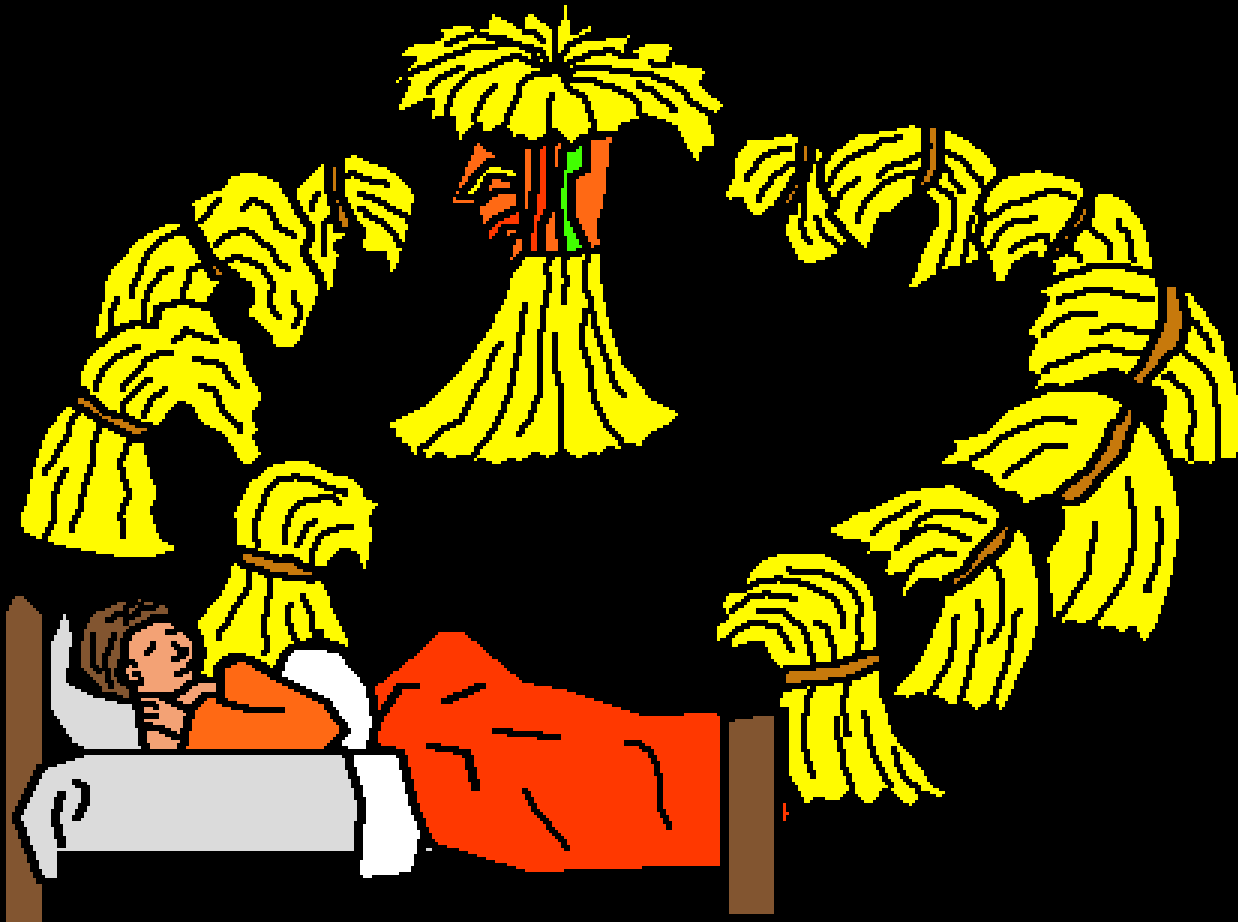
じぶん

はなし

き

にい

ある時ヨセフは、自分のゆめの話をしました。それを聞いた兄さんたちは、かん  
かんにおこりましたよ。そのゆめというのは、こうでした。「私のこくもつの束  
は、高く立ち、兄さんたちの束が、おじぎをしたんだよ。」このゆめは、ヨセフ  
が、兄さんたちよりも、もっとえらくなるということを、言っていました。



に じ め

## ヨセフの二度目のゆめ

たいよう つき ほし

は、太陽と月と星が、ヨセフにおじぎしたというものでした。このゆめに

とう

は、お父さんヤコブもおこってしまいました。ヨ

じぶん とう

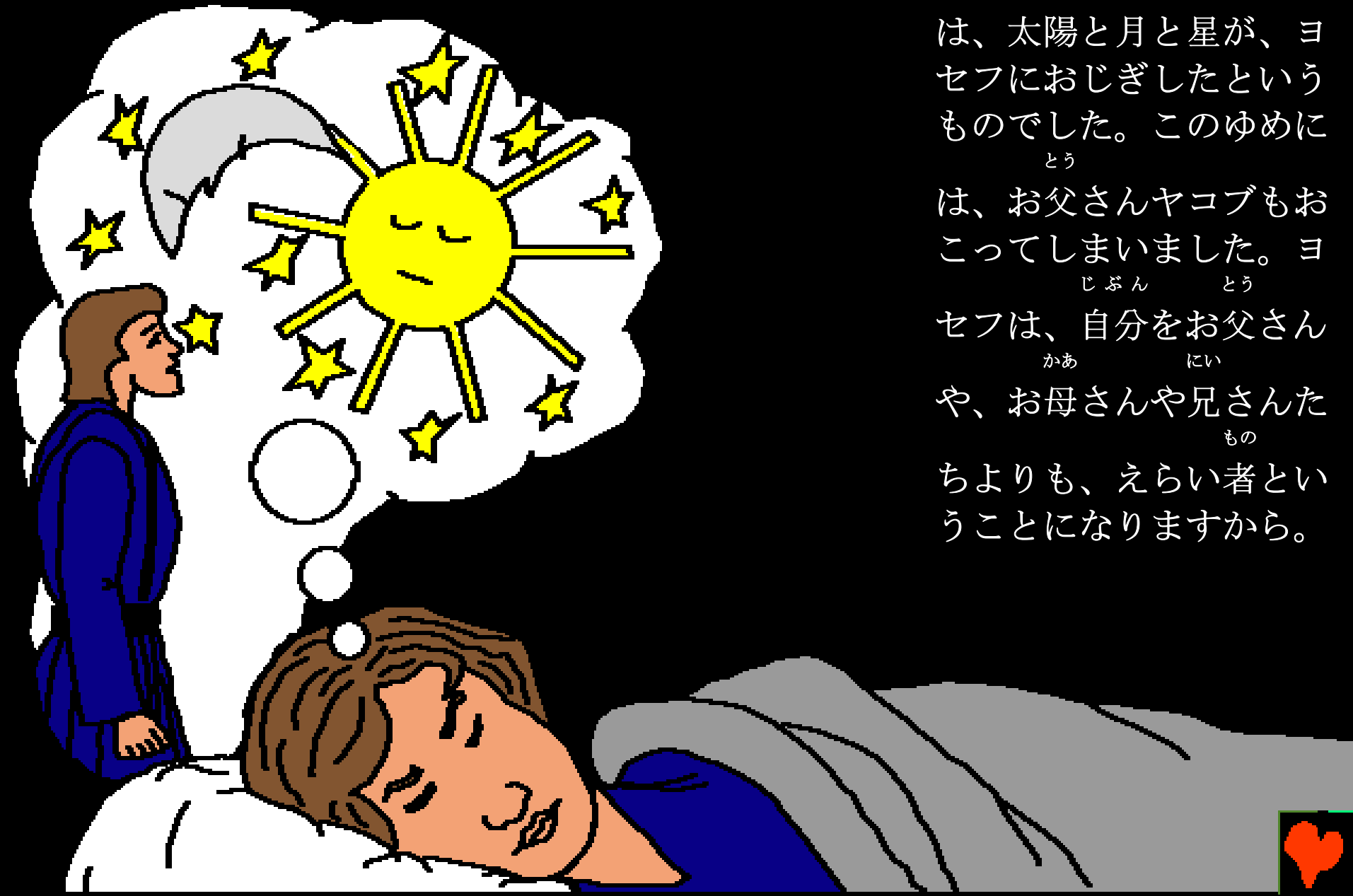
セフは、自分をお父さん

かあ にい

や、お母さんや兄さんた

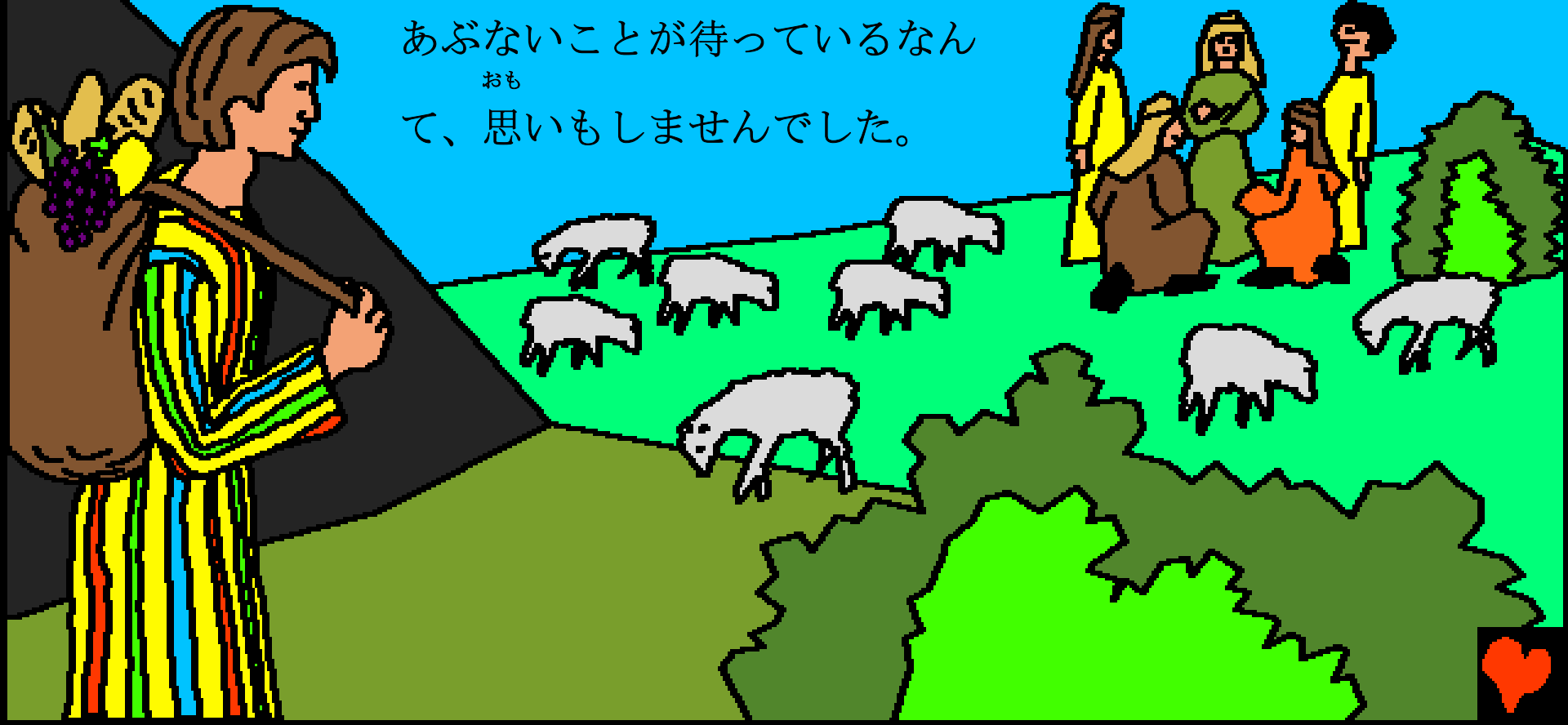
もの

ちよりも、えらい者という  
ことになりますから。



ある日、ヤコブは、ヨセフをとおくにある広い牧草地へ行かせました。そこでは、兄さんたちが、ヒツジやヤギの群れの番をしていました。兄さんたちは、ヨセフがこちらの方へやってくるのが見えましたよ。「おい、みんな見ろよ。ヨセフがこちらへ向かってくるんじゃないか。あのゆめ見るやつを、やっつけてしまおう。」「そうだ、そうしよう！」ヨセフは、

あぶないことが待っているなんて、思いもしませんでした。



いち　　うえ　　にい　　ほんたい　　い  
一ばん上の兄さん、ルベンは反対して言いました。「みんな、それはよくない  
けっ　　ち　　み　　あな  
よ。決して血をながしてはいけないよ。」そして、「そうだ、見ろよ。ここに穴  
なか　　な　　い　　い  
がある。この中に、ヨセフを投げ入れてしまおうじゃないか。」と言いました。  
よる  
ルベンは、夜になったら、

たす　　だ  
そっとわからないようにヨセフを助け出  
おも  
そうと思いました。

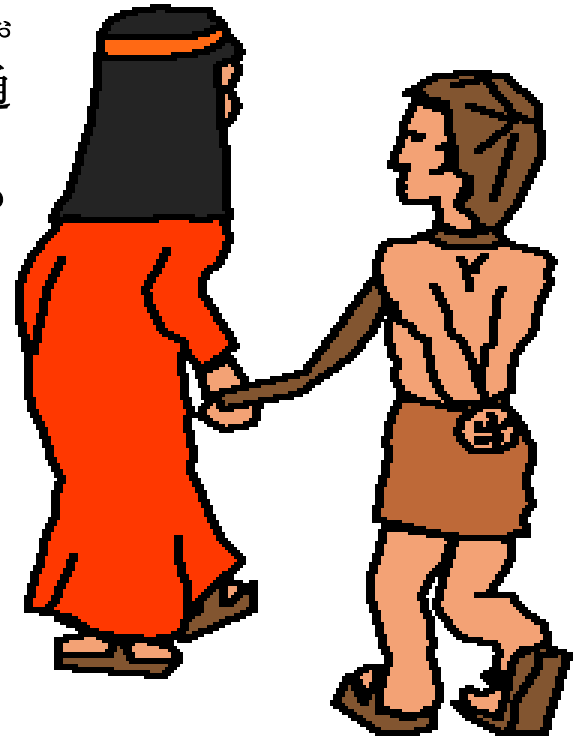


いよいよ、ヨセフ  
が、やってきました  
にい  
よ。兄さんたちは、  
ヨセフにおそいかかり、  
かれのきれいな  
ふく  
服をはぎとってしま  
いました。それは、  
ちち  
父ヤコブがかわいい  
むすこ  
息子ヨセフのため  
つく  
に、作ったとくべつ  
ふく  
の服でした。それか  
にい  
ら、兄さんたちは、  
ヨセフをおそろしく  
あな なか な  
ふかい穴の中に投げ  
こんでしまったの  
です。



あな

ルベンが、穴のところから、しばらくはなれていた  
ときのことです。ラクダをつれたキャラバン隊が通  
りかかりました。かれらは、エジプトへ行くとちゆ  
うです。「そうだ、ヨセフをあの人たちに売って  
しまおう。」兄さんの一人、ユダがさげびました。



たい

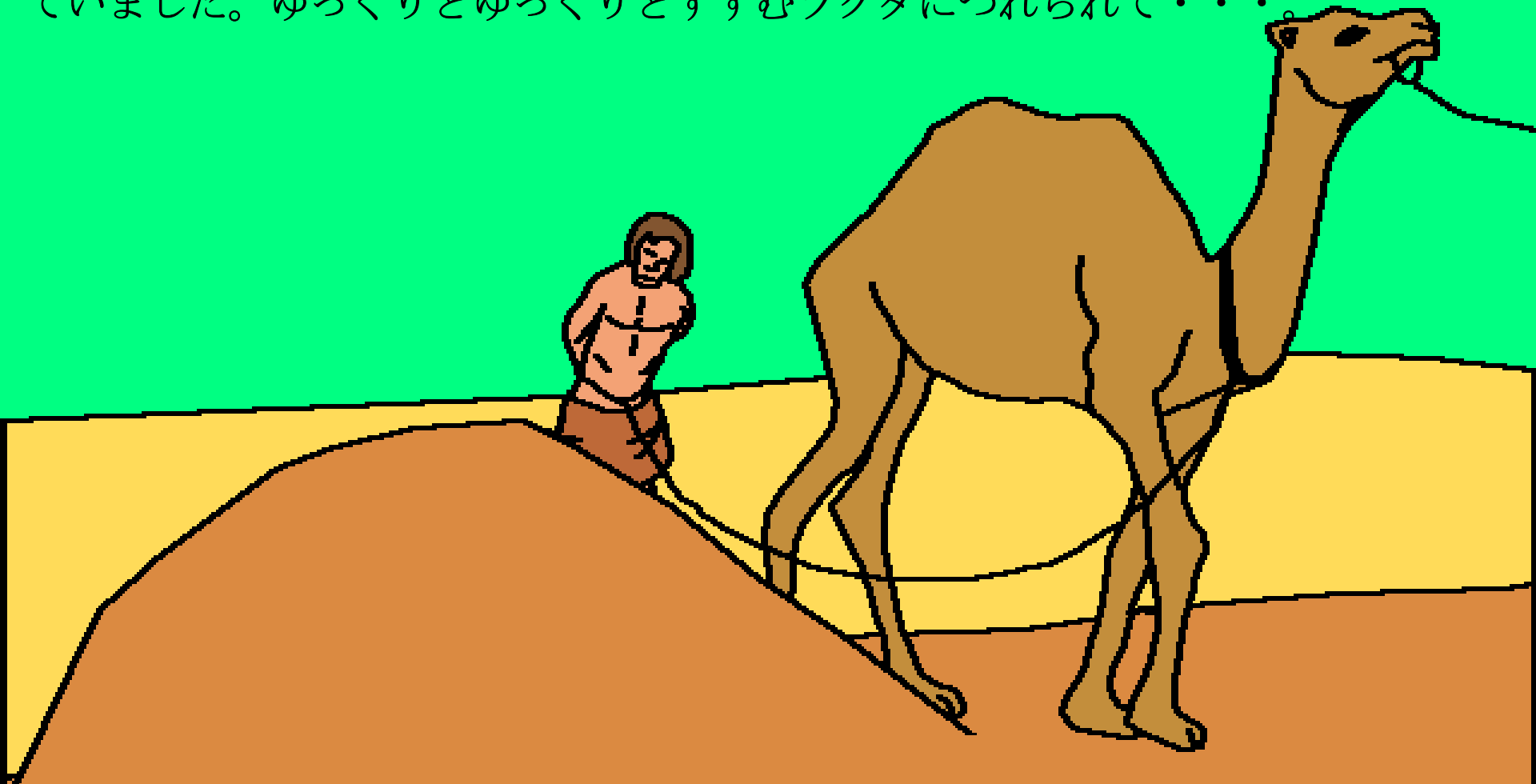
そして、キャラバン隊の  
人たちと話し合いました。  
とうとうヨセフを、  
銀貨20まいで、売って  
しまいました。



め

とお

ヨセフは、おそろしくてもう目にはなみだがいっぱいです。だんだん遠くはなれていくお父さん、お母さんのいるなつかしい家や土地を、ただぼんやりとながめていました。ゆっくりとゆっくりとすすむラクダにつれられて・・・





とう

「お父さん、これはヨセフの  
うわぎ ち

上着でしょうか。血がついて  
いるのですけれど……。私  
うわぎ の

たちは、この上着をあら野で  
にい

みつけたのです。」ひどい兄  
とう

さんたちは、お父さんのヤコ  
むすこ

ブに、かわいい息子ヨセフ  
が、けものにころされてし  
しん

まったと信じさせました。ヤ  
コブは、あまりのかなしさ  
ふく な

で、服をひきさき泣きつづけ  
ました。だれもヤコブを  
なぐさめることは、できませ  
んでした。





ひとり

エジプトで、一人ぼっちになって

ふあん

しまったヨセフは、きっと不安で  
おそろしかったにちがいありませ  
ん。たぶんヨセフは、みんなのい

いえ

る家に、もどりたかったでしょ  
う。でもかれは、にげだすことが  
できなかったのです。かれは、こ

くに やくにん

じん

の国の役人であったエジプト人ポ

いえ

ティファルの家でどれいとなり、  
はたらきました。ポティファル  
は、ヨセフがいつもいっしょうけ

み

んめいはたらいているのを見て、

あんしん

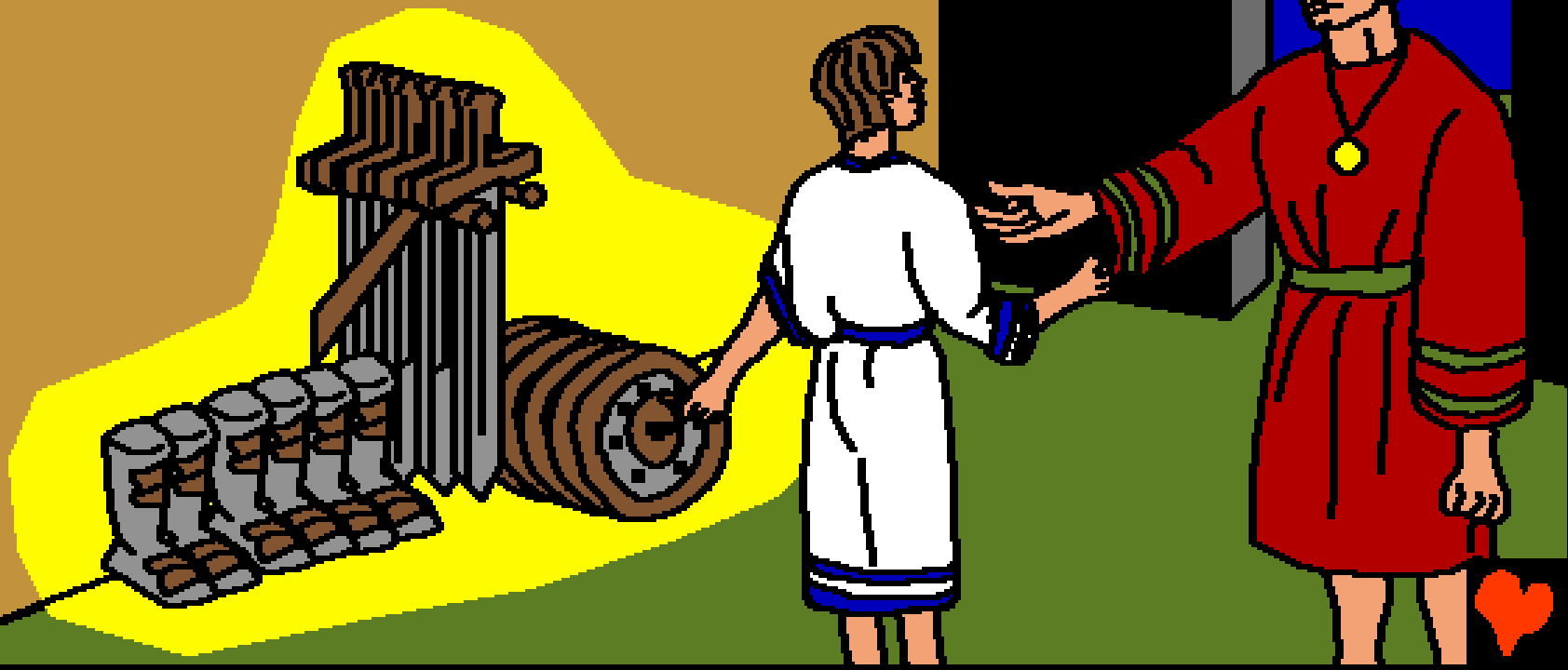
安心してなんでもまかせられると

おも

思いました。



「ヨセフ、おまえのすることは、なんでもみんなう  
まくいくんだね。」ポティファルは、ある日、ヨセ  
フにこう言いました。「神さまが、おまえについて  
おられるようだ。さあ、これからは、おまえを  
使用人の一ばんえらい者としよう。私のしごとの  
すべてをまかせ、ほかの使用人みんなの主人としよ  
う。」



かみ

はたけ

さくもつ

神さまは、ポティファノに、畑でたくさんの作物ができるように、

ゆた

そしてまた、たいへん豊かにくらせるようにしてくださいました。ヨ

くに

たいせつ ひと

セフのおかげですね。いまや、この国でとても大切な人となったヨセ

か

かみ

しん

フですけれど、いつも変わらず神さまを信

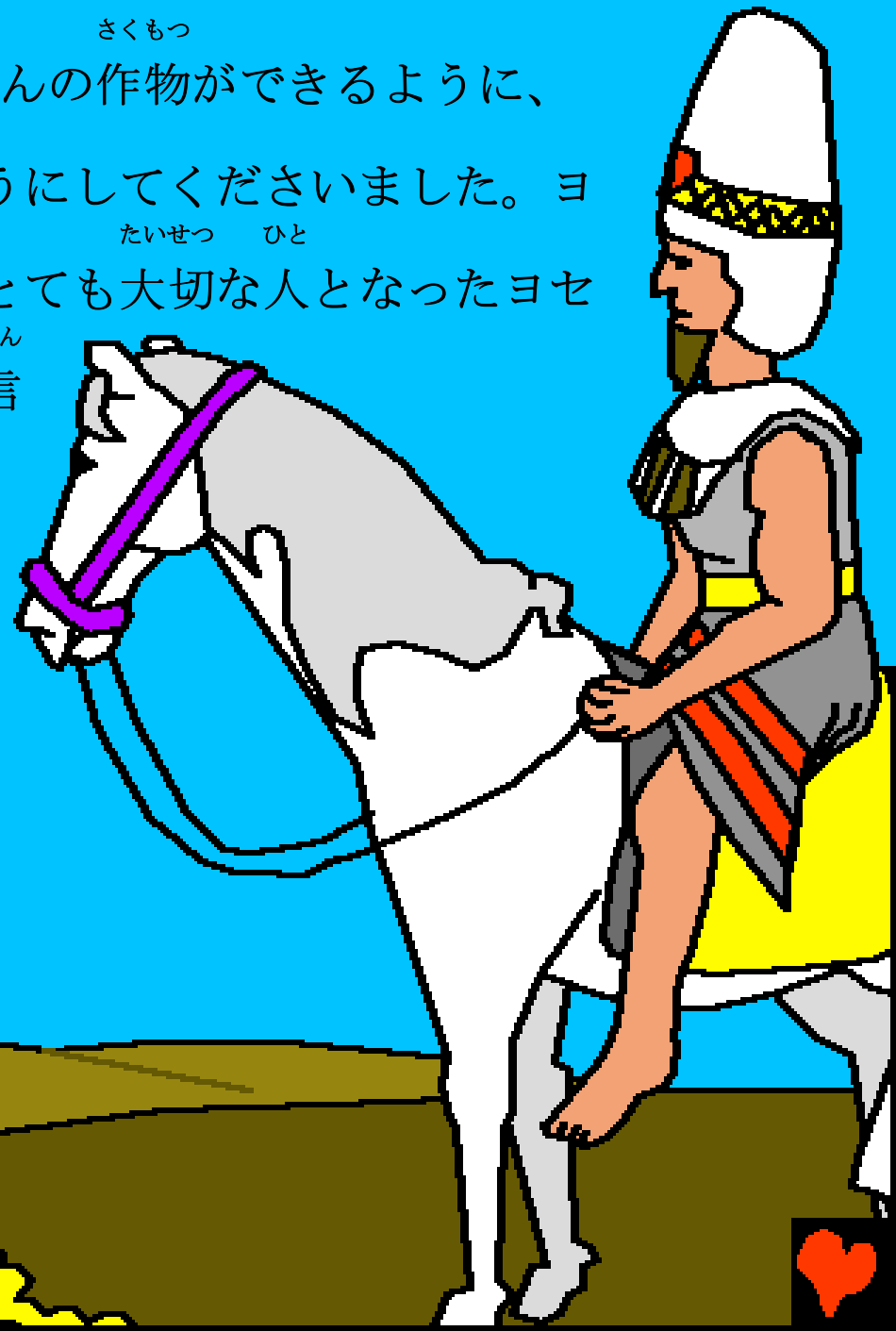
つか

らいし、仕えていました。ところがね、

こま

ヨセフに、たいへん困ったことがお

こりましたよ。



ひと

ポティファルのおくさんは、よい人ではありませんでした。かのじよは、ヨセフ

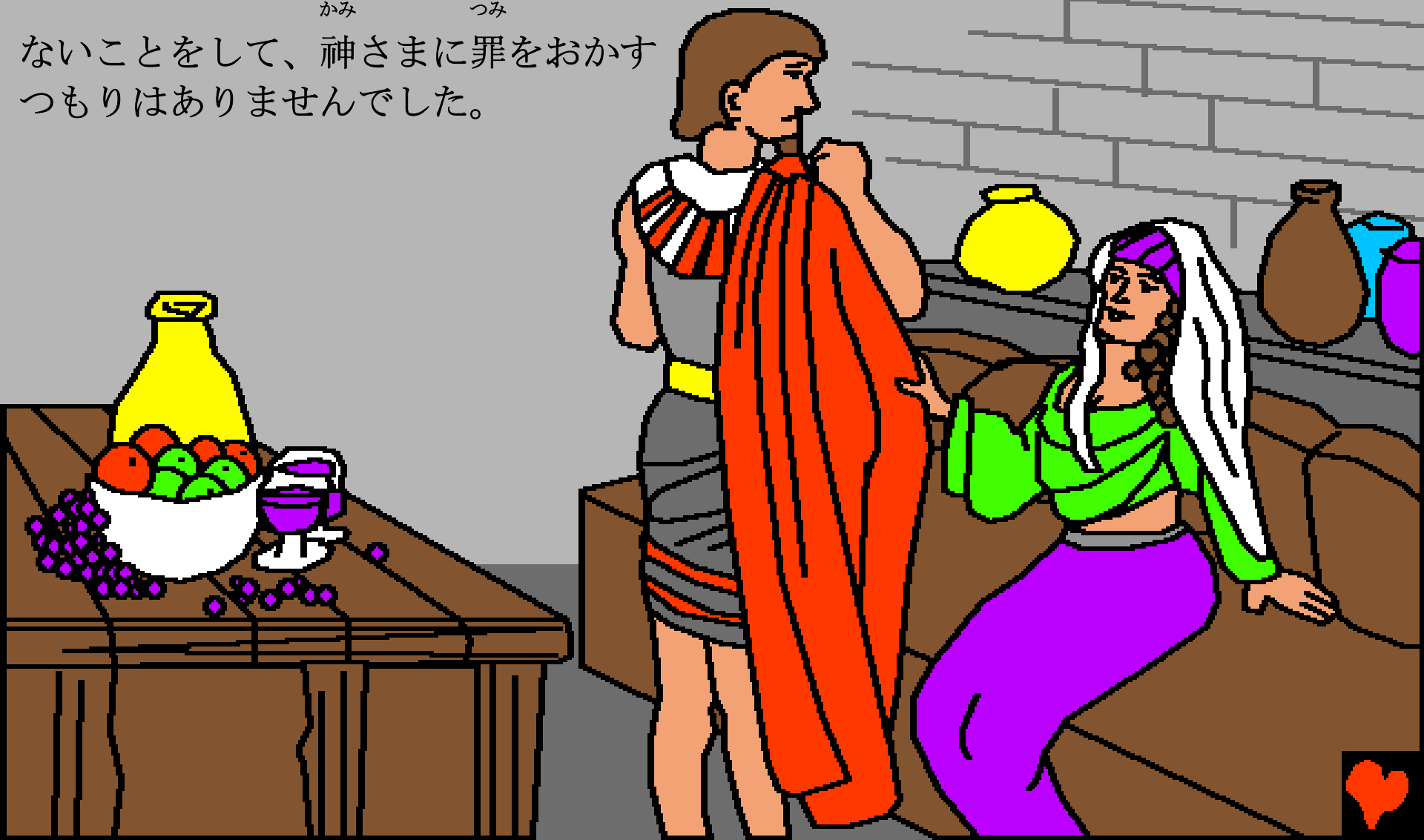
じぶん おっと

い

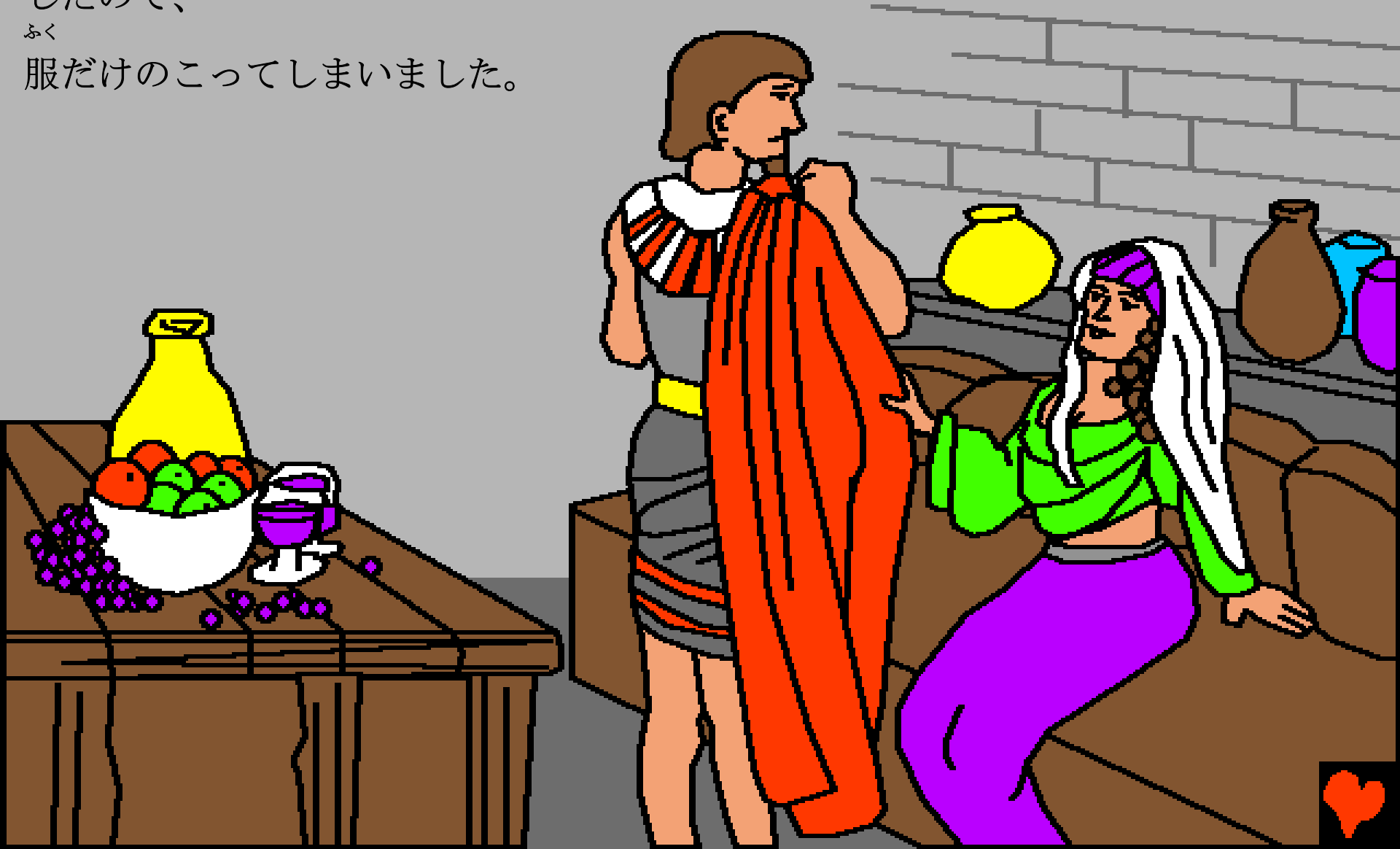
に自分の夫ポティファルのかわりをするように言いました。もちろん、ヨセフは  
ことわりました。ヨセフは、ポティファルによく

かみ つみ

ないことをして、神さまに罪をおかす  
つもりはありませんでした。



あるとき、おくさんはヨセフにむりやり言いよってきました。かれは、外へうま  
くにげましたよ。ところが、おくさんは、ヨセフの服を、しっかりつかんでいま  
したので、  
服だけのこってしまいました。



わたし

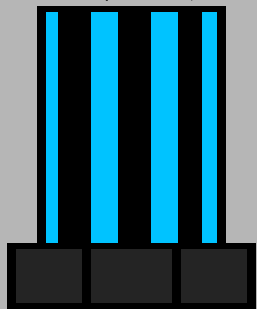
「あなたのどれいは、私にいたずらしようとしたのです。」ポティファルのおく  
さんは、このようにヨセフのことをいいました。「さあ、見てくださいよ。ここ  
にヨセフの服があるから。」それを見て、ポティファルは、たいそうおこりまし  
た。でも、もしかしたらかれは、自分のおくさんが、うそ

をついているって知っていたか  
もしれませんね。けれども、  
とにかくポティファルは、  
なにかしなければなりません  
でした。いったいか  
れは、どうするつも  
りなのでしょうね。



ほう

ポティファルは、ヨセフをろうやに放りこんだのでした。



つみ

ヨセフは、なんの罪もなかったのにどうして？ でもかれは、そのことで、つら

おも

く思ったりおこったりはしませんでした。

くる

たぶんヨセフは、今までの苦しかったできごとから、

まな

いろいろ学んできたからなのでしょうね。つまり

かみ

ね、たとえどこにいたとしても、いつも神さまを

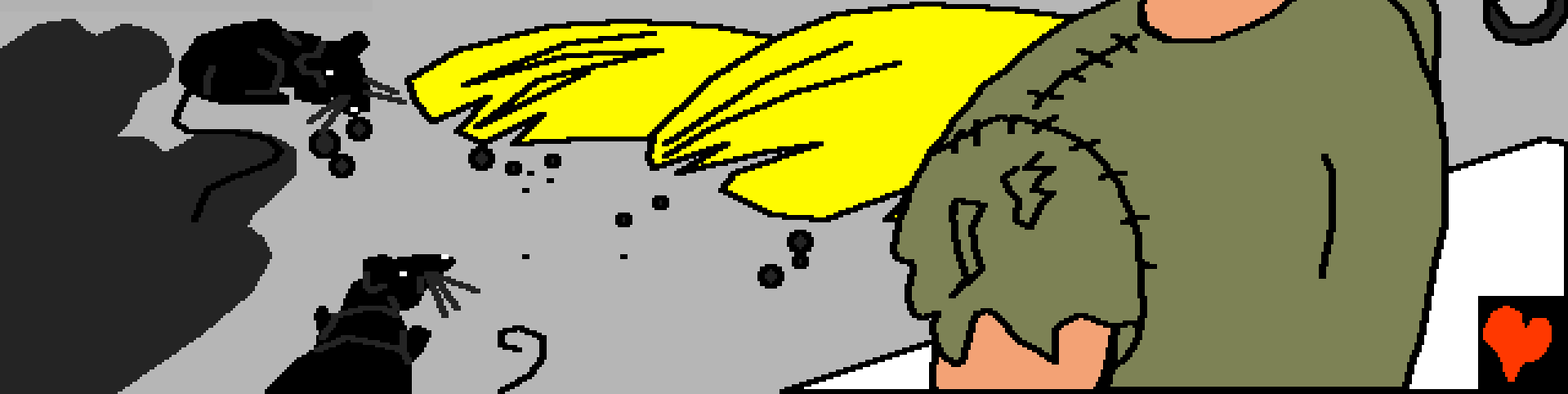
だいいち

かみ

第一にしていれば、神さまは、かならずまもってく

なか

ださるだろうって。たとえ、ろうやの中でもね。



むすこ  
一ばんかわいい息子が、どれいに

かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

そうせいき しょう しょう  
創世記 37 章 — 39 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださった素晴らしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っています。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、しています。それを、神さま  
は、<sup>つみ</sup>罪とよばれています。その罪のむくいは、<sup>し</sup>死です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをととても愛していますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世に送ってくださいました。そしてあなたの罪のために、十字架上で亡くなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国のいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを<sup>しん</sup>信じ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
は、<sup>いま</sup>今、<sup>ところ</sup>あなたの所へ来て、<sup>なか</sup>あなたのところの中に<sup>す</sup>住んでくださいます。そして、いつまでもイエスさ  
まといっしょに<sup>い</sup>生きることができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだと信じるなら、神さまにこう言ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛する神さま、私は、あなたが神さまと信じます。あなたは人となり、私たちの罪のために亡くなって  
くださいました。そして、よみがえって、いま生きて  
<sup>わたし</sup>いらっしやいます。どうか、<sup>なか</sup>私のところの中に<sup>き</sup>来て、<sup>つみ</sup>罪をゆるしてください。それで、私は<sup>わたし</sup>今、<sup>いま</sup>あたら  
<sup>いのち</sup>しい命をいただけます。そして、いつか、<sup>ところ</sup>あなたの所へ行き、いつまでもあなたといっしょに<sup>い</sup>いること  
ができるのです。あなたにしたがえますよう、あなたの子として<sup>こ</sup>生きることが<sup>い</sup>できますよう、たすけて  
ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書をよみ、神さまとおはなししましょう！ ヨハネによる福音書3：16

